

つながりを耕す広報誌

SSKP

ことは

2026 秋号

2026年10月 通巻081号



社会福祉法人

万葉の里



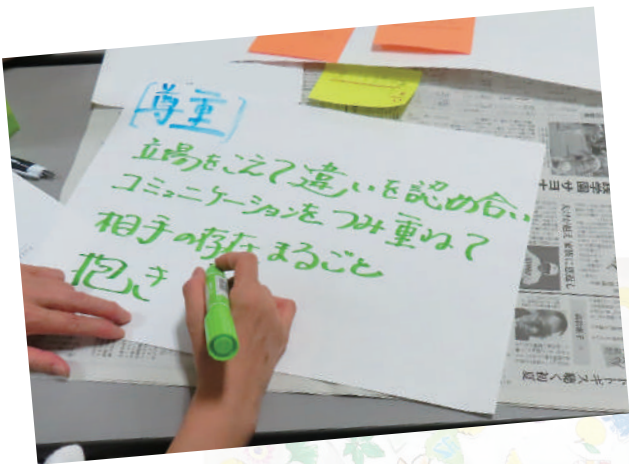
万葉の里HP
二次元
コード



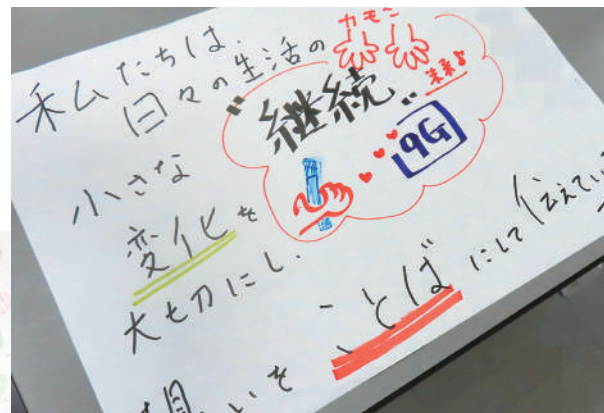
特集

万葉の里の法人内研修

～クレドによる理念の立ち上げ～



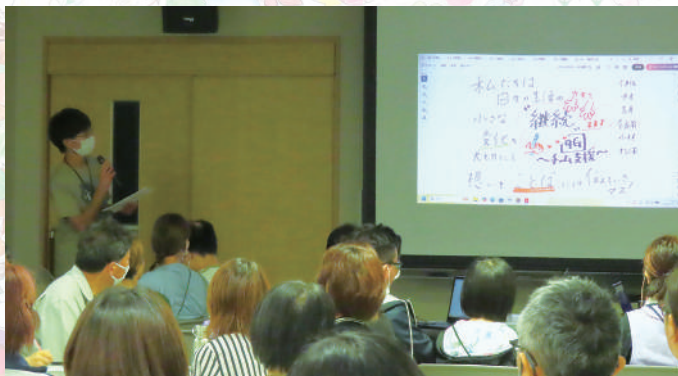
クレドについて意見交換した内容を、グループごとにまとめています。



7月17日の研修の概要と実際の様子

令和8年7月17日(金)に開催された「令和8年度理念研修」には、総勢76名の職員が参加し、グループワークや話し合った内容の発表を行いました。

当日は10のグループに分かれ、それぞれが仕事をするうえで大切にしていることについて、考え方が近い職員同士で編成されました。各グループでは、設定された「クレド」をテーマに、「クレド」に基づく支援とはどのようなものかを具体的に話し合い、意見交換を通して支援場面での具体的な行動へと落とし込んでいくワークに取り組みました。



作成した資料を基に、具体的な支援の場でのエピソードを踏まえて発表を行い、クレドの共有を行います。

10グループごとのクレド

- ① 協同・協調
- ② 丁寧
- ③ 笑顔
- ④ 誠実
- ⑤ 根拠
- ⑥ 知る
- ⑦ 想像・イマジネーション
- ⑧ 尊重
- ⑨ 継続
- ⑩ 感謝



万葉の里の理念
「ともに創る ともに生きる」

特集

万葉の里の法人内研修

……クレドによる理念の立ち上げ……

万葉の里では、年に数回法人内研修の一環として「万葉の里 理念研修」を実施しています。普段は別々の拠点で勤務する職員同士が国分寺市障害者センターに集まり、万葉の里の職員として、法人の理念について、改めて確認する機会となっています。法人内部での実施のため、外部に公開される機会が少ない理念研修ですが、実際にどのような研修を行っているのか、今号の特集コーナーでご紹介します。



理念研修の目的

理念研修は、研修を通して理念に対する認識を共有し、共通認識のもとで万葉の里の理念である「ともに創る ともに生きる」と職員一人ひとりの「信条」「志」「支援において大切にしていること」等のすり合わせをすることで、理念を具現化し、職員それぞれのクレド※1を作っていくことを目的としています。

職員一人ひとりが自身のクレドを意識して支援や業務に携わっていくことで、万葉の里の理念を「ミットしていく」ことを目指しています。

※1クレドとは?

…ラテン語で「志」「信条」「約束」を意味する言葉。現代の企業などでは、理念としての意味で使用されることが多い。



研修についてのまとめ

国分寺市基幹相談支援センター センター長 尾田 史剛 (おのだ しごう)

今回の理念研修では、グループワークを通して、理念をもとにした「クレド」を具体的な行動に落とし込む作業を行いました。それぞれの所属を超えて、職員一人ひとりが自身の言葉で「クレド」に対する思いや考え、そして「クレド」に基づく支援とは何かを発信し、それに聞き入る職員たちもとても生き生きとした表情をしており、まさに「ともに創る ともに生きる」を体現する時間となりました。

今後は「クレド」を落とし込んだ支援を実践し、定期的に振り返りを行うことで、より理念に基づいた支援にブラッシュアップしていく予定です。グループワークで話し合った内容は、各拠点内に掲示をしています。事業所にお立ち寄りの際は、ぜひご覧になってください。

グループホームとは…

「障害者総合支援法」では、「共同生活援助事業」と規定され、「主として、夜間において、共同生活を営むべき住居において相談、入浴、排せつ又は食事の介護その他の日常生活上の支援を行うこと」と定められています。

- 対象者** 国分寺市在住で、共同生活援助の支給決定を受けている方
- 定員** あい：女性6名、いろは：男性5名、みらい：男性4名
- 行事等** クリスマス会など季節行事、誕生日会、その他利用者の皆さんと話し合っイベントを実施しています。
- その他** 日中の時間帯は、地域社会とのつながりを大切にするため通所サービス等をご利用いただいています。

利用者の声から つくる暮らし

共同生活援助事業 **ケアホームこの葉**



Bさん

自治会では、みんなの取り組みについて話しています。私は洗い物を頑張っていることを発表しました。発表してみて良かったですし、楽しかったです。これからは、掃除の仕方についても見てみたいと思います。他の利用者さんの発表も聞いて、良かったと思いました。



Aさん

自治会では、外食のことを話しています。体操やストレッチを頑張っていることを発表しました。自分でもよくできたと思います。これからは、絵を描くことや写真を撮ることにも取り組み、みんなに発表してみたいです。他の利用者さんの発表を聞いて、みんな一人ひとり違っけれど、それぞれ頑張っていると思いました。



Cさん

自治会では、みんなで土日外食することなどを話しています。私は洗濯物干しを頑張っていることを発表しました。ちゃんとできて良かったです。これからは整理整頓を頑張りたいです。他の利用者さんの発表を聞いて、それぞれできることや頑張っていることがあると思いました。



利用者自治会の の取組

ケ アホームこの葉では、利用者の皆さんが自分たちの暮らしについて考え、意見を伝えあう場として「利用者自治会」を開催しています。

グループホームは、利用者一人ひとりが地域の中で自分らしく生活を送る場所です。そのためには、職員が支援を行うだけでなく、利用者自身が日々の暮らしについて考え、思いを伝えながら生活をつくっていくことも大切であると考えています。利用者自治会は、そのような思いのもと取り組んでいる活動です。

自治会では、利用者の皆さんが日々の生活の中で頑張っていることや挑戦していることについて発表を行っています。洗い物や掃除など、それぞれが取り組んでいる内容は様々ですが、自ら発表することで自身の頑張りを振り返る機会となっています。また、他の利用者の発表を聞くことで、お互いの努力や良いところを知る機会にもなっています。

利用者同士で頑張りを共有することで、自信や達成感につながるだけでなく、「自分もやってみよう」と新たな意欲が生まれる様子も見られています。

一人ひとりの取り組みを認め合うことは、お互いを理解し、支え合うことにもつながっています。

また、自治会では休日の活動について話し合うことがあります。休日の昼食外出について話し合う時は「どこへ行きたいか」「何を食いたいかなど利用者同士で意見を出し合いながら内容を決定しています。自分たちで考えた内容が実際の活動につながることは、グループホームでの生活について考える機会にもなっています。

利用者自治会は、利用者の皆さんが自分の思いを伝え、仲間の意見に耳を傾けながら、ともに暮らしを考える大切な機会となっています。これからも一人ひとりの声を大切にしながら、利用者の皆さんが望む暮らしの実現に向けて、自治会の取り組みを続けていきたいと考えています。

(主任 鵜澤 大地)

Let's!

take on new challenge together

【苦情解決・虐待対応第三者委員】

万葉の里では苦情解決・虐待対応第三者委員(以下、第三者委員という)として、3名の外部委員の方々にその役割を担っていただいております。今回は外部委員の一人である国分寺市民生委員・児童委員協議会代表会長の前出禎造様にお話を伺いました。毎年行っている利用者アンケートで苦情解決システムに関する認知度が6割に留まっていることから、第三者委員の方々を身近な存在として知っていただく機会となれば幸いです。

ご経歴や現在担われている民生委員の活動について教えてください。

東京学芸大学では障害児教育を専攻し卒業後、国分寺市立第四小学校の双葉さつき学級の介助員を1年間勤めました。音楽活動の経験から、新聞社に入社しコンサート企画部署に携わり、ある時独立を決心し、事務所立上げの準備をしていると、家族からPTAを勧められ活動することになりました。そんな折、PTA活動を通じて民生委員に推薦いただく機会があり、13年ほど前から民生委員として活動を続け現在に至ります。実はその傍ら、就労継続支援事業B型の非常勤職員を7年ほど勤め、障がいのある方々と公園清掃や受注作業を一緒に行った経験もあります。万葉の里にも就労継続支援事業B型があり、とても親近感を感じています。

Let's solve your problems together!



インタビュー時の前出委員

民生委員としては、高齢者の方や地域の皆さんの悩みごとや困りごとの相談を受け、行政や社会福祉協議会につなげる活動をしており、一番身近な地域の相談窓口としての役割を担っています。また、民生委員の活動を知ってもらう啓発活動として、国分寺まつりなどのイベントや国分寺駅頭でのポケットティッシュやパンフレットの配布を行っています。

万葉の里の第三者委員になれたきっかけを教えてください。

4年前、民生委員で東部地区会長に就任した際に、万葉の里の評議員であった前任の民生委員から、評議員を引き継いだことがきっかけに万葉の里とつながり、第三者委員としての依頼を受けました。実際に第三者

委員として活動を始めると、考えていた以上に責任が重く、大変さを感じていますが、民生委員としての経験が生かせればと思います。できる限り尽力したいと思っています。

読者へのメッセージをお願いいたします。

苦情解決や虐待対応の第三者委員と聞くとは怖い、堅いというイメージを持たれがちで、相談しづらいかと思っています。3名の第三者委員がそれぞれの立場から解決の手立てとなることをアドバイスできると嬉しいです。長い間悩まれていることや、万葉の里の職員には相談しづらいことなどあれば、お話を聞かせてください。3名の第三者委員が親身になって相談に乗ります。ぜひ、ご相談いただければと思います。



朝夕の愛犬のモクとの散歩は、日課でもあり、楽しい時間でもあります。

ういず

職員紹介



よしはら としや
吉原 俊也
生活介護事業 この里
好きな言葉: 初志貫徹
趣味: 旅行

私が福祉の仕事に携わるようになり3年半が経ちました。ボランティアに参加したことがきっかけで万葉の里に入職し、現在は生活介護事業この里に所属しています。入職する以前より福祉の世界に興味があり、振り返ってみると学生時代に通っていた中学校には特別支援学級があり、イベントなどの行事と一緒に参加する機会がありました。また前職の職場には障害者雇用があり、障害者の方々と一緒に働いていました。

私がその当時から感じていたのは「可能性」です。利用者の皆さんには、入所した時には苦手だったことが今では得意なことの一つになっている方もいます。例えば、作業の一つであるミサンガ作製では、力加減の難しさから、集中して取り組み続けることができなかった利用者がいました。しかし、成人を迎えたタイミングを境に、「ご本人の意識に変化が起こり、作業に意欲的に向き合えるようになりました。」

この先も、利用者の皆さんの力を引き出し、活動の一環でもある「地域との繋がり」を意識したイベントへの参加を通して、地域の方々にも利用者の持つ「可能性」を伝えていけたらと思っています。

次回は堀川ゆりさんの紹介です



は せ が わ す お み
長谷川 須於巳
生活介護事業 太陽
好きな言葉:
まーしょうがない
趣味: ライブ鑑賞、映画

こんにちは、太陽の長谷川です。センターに勤めて4年が経ちました。働き始めた当初は戸惑うことや新しい価値観との出会いが多くあったことを覚えています。その頃のことを昨日の出来事のように鮮明なほど、私にとっては発見の多い日々でした。

太陽の皆さんとどのように向き合っていくべきか悩んだ時期もありましたが、気付けば利用者の方から受け入れてくださっていました。その中で、創作品が完成した時や運動をした時、散歩の時に見せる笑顔など、色々な場面や角度から見えてくる表情が日々の癒しになりました。

支援の中で、最初は散歩に行くことも大変に感じる場面もありましたが、一日外出などで、色々な場所に出かけたり、全く土地勘のないところにポスティングに行ったりと、様々な経験を通して、今では『何でも来い』と思えるようになりました。この心境の変化は、周りの職員さんが支えてくれたからこそだと思います。

太陽にいると、大変なことと同じくらい、楽しいこともあります。利用者がいつも楽しく過ごせるように、また楽しい体験や経験を積み重ねられるように、色々な視点から活動を考えて、利用者の皆さんに提供できたいなと思っています。

次回は栗山紗矢子さんの紹介です

いやしけ吉事 よこと

いいことがありますように



今回は、「万葉の里の理念研修」を特集しています。万葉の里では、「ともに創る」とに生きる「という理念と1利用者者本位のサービスの実現、2専門性を活かした支援、3地域社会との連携と協働という三つの基本方針を踏まえ、それを実現するために、1生命の尊厳、2人権の擁護、3個人の尊厳、4自己決定への支援、5プライバシー保護、6秘密保持、7社会への参加という倫理綱領(考え方)を定め、支援の根幹としています。しかし、理念や基本方針を掲げただけで十分かと言えばそうではありません。福祉の現場でそれを日々どう実現していくのか、例えば、どう声をかけるのか、本人の希望をどう聴くのか、法令や手順をどう守るのか、安全と自己決定がぶつかったとき、何を基準に考えるのかなどが常に問われることとなります。そんなとき、法人や職員が、何を大切にしているのか、どんな姿勢で支援を行うのか、迷ったときに何を基準に判断するのか、自分たちが日々どんな思いと行動で理念と方針を実現しようとするのか、日々の支援の行動を共通の言葉(「ク

レド」「志」「信条」「約束」)に置き換える作業を職員皆で創りあげることがとても大切になります。理念研修の目的もこの作業を通じて職員皆で理念等を実現していく手立てを創ることにあるのだと思います。

令和8年3月に行った理念研修では、自分が大切にしている「ひとこと」、それを大切にしている理由、それを理念や方針、倫理綱領などに引き寄せてもらう形でグループワークを行いました。次に、7月の研修では、仕事をするうえで大切にしている考えが近い職員同士がグループになり、「クレド」に基づく支援について具体的に話し合いをしてもらいました。

私も、研修の際、グループのテーブルを回って、話し合いの様子を伺っていました。真剣な様子で語り合い、時には笑いも交えながら話し合い、筆を走らせる職員の姿を拝見し、まさにこの過程そのものが、皆で理念を職員一人ひとりの支援の言葉に置き換える作業そのものになっているという実感を受けました。

(理事長 室地隆彦)

Infomation

万葉の里の今後のイベント参加情報をご紹介します!!

●10/3(土)：「市民活動フェスティバル」cocobunjiプラザ リオンホール (この里)

●10/4(日)：「第47回恋ヶ窪公民館祭」恋ヶ窪公民館 (この里)

●10/10(土)：「万葉の里オープンデイ」(全事業)

時 間：午後1時～3時

場 所：国分寺市障害者センター

●11/1(日)：「第43回国分寺祭り」都立武蔵国分寺公園(太陽、どーむ、この里)

●11/15(日)：「Sunday Park Cafe」都立武蔵国分寺公園(この里)

●11/28(土)：「ふらっとけやき公園」けやき公園(この里)

*詳しい情報やその他イベントについては、万葉の里公式HPやInstagramをチェック!



編集後記 今回の特集では万葉の里の法人内研修についてご紹介しましたが、いかがだったでしょうか。普段はそれぞれ違う拠点で、違う仕事をしていると、同じクレドでも感じていることや大切にしていることは人それぞれだと思います。入職して間もない私にとっては、普段なかなか話す機会のない職員の方々と交流できる貴重な時間となりました。意見交換や各グループの発表を通して、「そういう考え方もあるんだ!」と感じることも多く、新たな発見がたくさんありました。この広報誌を通して、研修の様子や職員の取組が少しでも皆さまに伝われば嬉しく思います。

(広報委員会)

